

電子情報部

情報技術を用いた国会議員への調査サービス・情報提供サービスの充実のほか、国内外の誰もが利活用可能な「知識インフラ」の構築を目指します。また、業務の基盤となるネットワークやシステムの管理を担います。

電子情報事業に係る企画・研究



所蔵資料のデジタル化やデジタル情報の長期保存などの館の電子情報事業に係る計画の立案や関係団体との調整、国の事業である多様なデジタルアーカイブの検索・閲覧・活用基盤「ジャパンサーチ」の開発・運用、知識基盤構築のための外部機関との連携協力、「NDLラボ」での次世代の図書館システムの開発のための調査研究や実験などを実施。

情報資源へのアクセス提供



調べものに役立つ情報やノウハウを案内する「リサーチ・ナビ」や、全国の公共図書館や学術機関のデータベースを横断検索する「国立国会図書館サーチ」、震災記録のポータルサイト「東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)」などを開発・運用し、様々な情報資源へのアクセスを提供。

情報システムの開発・運用

国立国会図書館所蔵資料の検索・申込みができる「国立国会図書館オンライン」などの国会向け・一般利用者向けサービス、資料の収集・整理などの業務のための情報システム、「国会会議録検索システム」や「日本法令索引」などの国会関連情報を管理・提供するデータベース、ホームページの開発・運用などを実施。

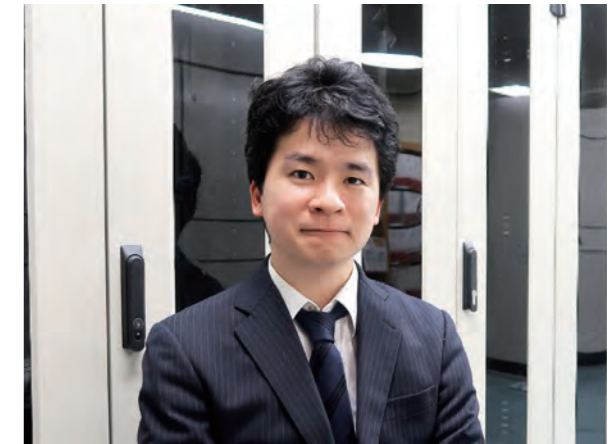


図書館のエンジニアとして次世代サービスを考える

青池 亨 電子情報企画課

私の所属する次世代システム開発研究室(次世代室)は、新しい図書館サービスを実現するために、国立国会図書館のデータ資源を活用した機械学習研究及び実験サービスの構築、ジャパンサーチの開発、デジタルデータの長期保存の調査といった業務を行っています。

国立国会図書館は、デジタル化資料や書誌データなど多岐にわたるデータ資源を持っています。それらを加工して機械学習用データセットとして整備・公開する、また整備したデータセットを利用して調査研究やプログラム開発を行い、成果を論文発表するといった、新しい付加価値や活用方法を生み出すための取組を進めています。類似挿絵検索等の成果の一部は次世代デジタルライブラリーという実験サービスに実装し、一般に公開しています。実験段階の試みをサービスに繋げていくことに面白さと難しさを感じます。他にも、様々なデジタルアーカイブの多様なメタデータをジャパンサーチに取り込めるように



変換・分析する機能等の実装を担当し、本番サービス上で動作させることにやりがいと責任を感じました。

私は入館当初から現在に至るまで次世代室に所属していますが、調査研究といっても、システムへの機能実装、プログラム開発を伴う実験、システムインフラの運用、論文執筆や学会発表、外部の研究者との意見交換といった幅広い業務があります。

先人の知識の蓄積である国立国会図書館の膨大なデータ資源について、その活用方法を技術面から検討することは興味深く、意義あることと考えます。「へえこんな仕事もあるのか」と思った貴方、一緒にやりませんか？

学生時代の専攻

生物測定学

Career

H29.4 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室
(H30.4 同 電子情報企画課
次世代システム開発研究室に組織再編)



2つの画面を使い分けながら作業